

関係機関が協力し研修・就農・定着までトータルでサポートする体制を整備 JA鹿本地域担い手育成センター（熊本県）

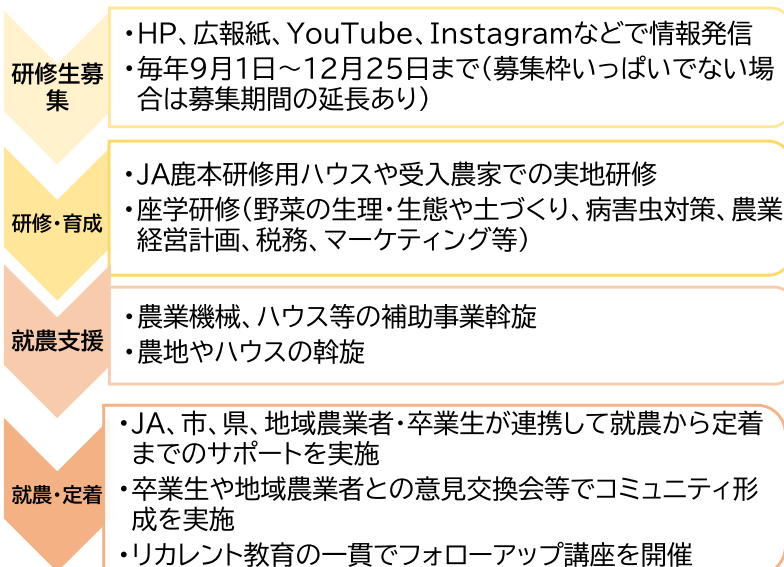
【トレーニングファームの概要】

- 所在地：熊本県山鹿市鹿央町
- 研修品目：ミニトマト、ナス、すいか
- 研修人数：6名/年
- 研修要件：研修終了後、JA鹿本管内に居住し就農できる者、一定程度の自己資金の準備ができる者 等
- 研修内容：圃場実習、座学（野菜、経営関係）、演習等
- 研修場所：JA鹿本地域担い手育成センター
- 取組の背景：JA鹿本管内の新規就農者を確保・育成するため、平成30年に県内初となる園芸品目でのJA研修センターを創設。令和4年度に山鹿市担い手育成総合支援協議会（JA、市、県、農家代表等で構成）の活動強化を行い、就農から定着まで関係機関が協力してトータルでサポートする体制を整備。当育成センターが核となり関係機関が連携して新規就農者の確保・育成・定着に向け取り組みを進めている。
- ホームページ：<http://ja-kamoto.or.jp/page-aguri-trainee/>

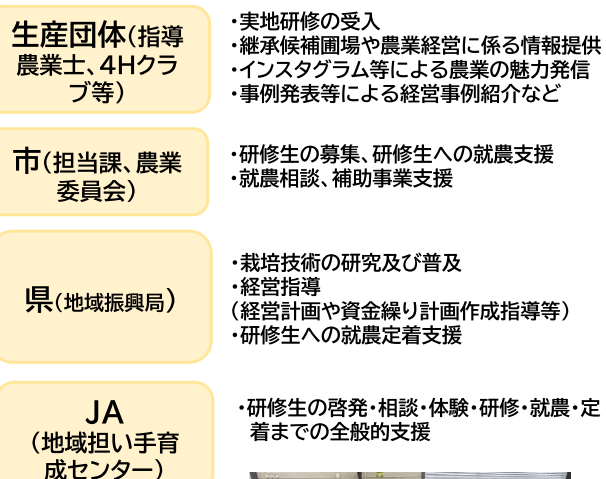


研修施設

新規就農までの流れ



サポート体制



座学研修

トレーニングファームでの研修

研修期間（2年間：7月～6月）

1年目

2年目

■研修センターでの研修

- （5つの要素を習得するためJA研修用ハウスで研修）
- ・栽培技術：作物の生理生態等の基礎的な知識を座学研修
 - ・経営感覚：青年等就農計画作成、補助事業等の座学研修
 - ・就農基盤：JA鹿本営農指導員や地域農業者等と協議しながら就農基盤の準備
 - ・営農資金：青年等就農資金申請書作成、補助事業申請準備等を座学研修や個別対応で実施
 - ・地域コミュニティ：研修卒業生や地域農業者との意見交換等

■3パターンの研修

（研修生の意向を踏まえ選択）

- ・受入農家研修（受け入れ農家の元で栽培技術を実践的に学ぶ）
- ・研修センターでの研修（2年目の者が1年目の者に教えながらJA研修用ハウスで栽培や座学研修）
- ・研修センターと受入農家でのハイブリッド研修（就農品目、就農地が一緒の受入農家で重要な栽培管理時期のみ受入農家研修）

成果・実績

- ・7期生（H30年～）までが卒業し、独立自営就農者19名、親元就農者5名、雇用就農者4名を輩出
- ・移譲希望者とのマッチングで就農した者が多数おり、農地の持続的な維持に寄与



施設技術研修



卒業生の圃場視察